

四日市市立水沢小学校

学校だより

令和7年1月8日 第46号



3学期の始業式をオンラインで行いました。

1月8日(水)、インフルエンザ等感染症拡大防止の観点から、校長室と職員室、各教室とをオンラインで結び、3学期の始業式を行いました。まず、各学年の代表児童がタブレットの前に着席し、3学期にがんばりたいことの発表をしました。私からは、次のようなこと(概要)を子どもたちに話しました。

みなさん、あけましておめでとうございます。令和7年を迎えました。今年は、1人ひとりが「絆」を強くして、幸せ多い1年になることを願います。

1年のスタートにあたり、改めて大切なことを3つ話します。毎回話している事ですが、頭に入れて意識をしてください。1つめは、「あいさつをしっかりとしよう」です。先生や学校のなかま、地域の方々や保護者の方々とは出会ったときには元気よくあいさつをしましょう。あいさつは、人の心と心をつなぐキャッチボールです。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」と笑顔であいさつを交わすと自然と元気になります。2つめは、「みんなと仲良くしよう」です。みなさんは一人ひとり、それぞれ姿や考え方、価値観が違います。それを個性と言います。それぞれの子の違いを認め合いながら、なかまの良いところを見つけて、助け合って仲良く学校生活を送りましょう。3つめは、「人の話をしっかりと聞こう」です。お話をしっかりと聞ける子は、何事にも一所懸命に取り組める子です。2学期は修学旅行や社会見学、校外学習や授業参観など多くの学校行事がありました。しっかりと話してくれている人の方を向いて話を聞くことができていたでしょうか。できていなかった子も何人かいたことと思います。特に3学期は、相手の目を見てしっかりと話が聞けるようになってほしいと思います。1,2学期と私から伝えたいことは変わりませんが、続けることが大切です。そして、あたり前のことですが、チャイムで授業が始められるようにしてほしいと思います。2学期は、となりのトトロ「さんぽ」の音楽が鳴ると、運動場からダッシュして教室へと戻るみなさんの姿がありました。とても素晴らしい光景だなあとながめていました。3学期は1年間のまとめの時期となり、4月からの新しい学年に向けて準備の学期ともなります。なかまのことを考え、チャイムが鳴ったら授業が始められるような環境を、みなさんで作ってほしいと思います。また、トイレのスリッパを揃えることや校舎内外の掃除もしっかりとお願いします。2学期は下の写真にあるように、なかなかトイレのスリッパが揃えられていない箇所がありました。学校生活を自分たちの手でより良い方向へと持っていくことはとても大切なことです。みんなが過ごしやすい、素敵な学校になるように、やっていきましょう。

最後に、特に3学期やってほしいことについて話をします。それは、「人(ひと)にやさしくしてほしい」ということです。水沢小学校のみなさんのいいところは上級生が下級生の面倒をしっかりと見ることができるところ、なかまと笑顔で穏やかに接することができるところです。地域や保護者の方々には、登下校時の交通安全見守りや本の読み聞かせ、地域学習指導員として授業へのかかわりをしていただいています。先生たちも真心を持ってみなさんのことを見守っています。なかまをはじめ、そんな周りにいる方々を大切に、どんな時もやさしい心で接してほしいと思います。さまざまな方々が、みんなの学校生活を支えてくれています。少しでも感謝の気持ちを持って、地域や学校で出会った時には「いつもありがとうございます」と、自然に感謝の言葉をかけられるようになってほしいと思います。

3学期は一番短い学期で3か月しかありません。6年生は卒業式を入れて48日間、1~5年生は修了式を入れて51日間学校に通うことになります。新年度に向けてやり残したことがないように、1日1日を大切にしっかりと過ごしましょう。



寒い時期の体育科授業における服装について

今年の冬は、例年よりも寒くなると言われています。体育の授業は、体温調節の観点から、半袖・ハーフパンツの体操服を基本とし、寒い場合は運動に適した長袖・長ズボンを着用して調整することとなっています。長袖・長ズボンについては、準備運動を終えた後、学習内容に応じて、授業担当の指示で脱ぐようにしています。何か特別な事情がある場合には、担任にご相談ください。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。(文責 北住 昌文)

